

関西学院大・3年 中本 裕之さん

JAZZ PARTY 2011
実行委員長

今年で12回目を迎えた大学生主催のジャズイベント JAZZ PARTY が10月9日に開催され、9大学11団体の小編成バンドがそれぞれの個性あふれる演奏を披露した。実行委員会の委員長、ドラマーとしても活躍した中本さんに話を聞いた。

FOCUS

追いかける。大学生。

5歳の頃から音楽教室に通い、打楽器を触りはじめた中本さん。中学の頃ビッグバンドに興味を持ち、本格的にドラムを習い、高校でも吹奏楽部に入部して音楽に関わった。大学に入ってから音楽から距離を置こうとしたが、高校の先輩から誘われて今のサークルに入部。「音楽は自分にとって切り離すことができないもの。気がつくど頭の中に音楽が鳴っている」。今でも授業の空きコマを見つけて部室で練習しているという。iPodには10000曲以上のジャズの音源が入っており、今回のライブの音源も家に持ち帰り反省をする。「音楽は会話やコミュニケーション

ション。言いたいことをいうだけじゃだめ。調和がないとうわべだけの演奏になってしまう」。
去年の JAZZ PARTY が終わってすぐに新実行委員会を発足。「ジャズを聞いたことがない人を取り込んで行き、縁を広げて行きたい」と春から夏にかけてフライヤー挟み込み、地域での告知ライブ、ブログやツイッターでの告知など広報活動に力を入れた。
各団体の個性を最大限に活かすために曲目や照明のセッティングなどはすべて演奏者に任せているという。スタンダードな曲目が主流な年もあるれば流行の曲目中心の年もある



NO MUSIC NO LIFE ! ジャズから生まれるつながりを広める



り「トレンドの一貫性のなさ」が JAZZ PARTY の魅力」だと感じている。
実行委員長を経験して、サークル内にとどまらず他大学の人のつながりや出会い、観客と出演者のライブを通して出来る輪を感じたという。将来については「音楽を仕事にするかは決めかねている」と苦笑した後、「でもドラムは死ぬまで続けたい」と話してくれた中本さんの音楽への愛情はいつまでも一途だ。(聞き手 室田朋美)

UNN 関西学生報道連盟

FOCUS は

神戸大学ニューズネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関西新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです